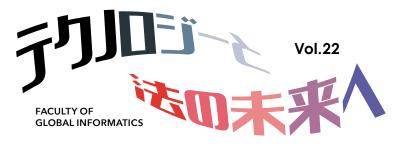
文学部

ポルトガルで出会った研究の未



国際社会が抱える問題を「情報の仕組み」と「情報の法学」の視点で 分析・解明し、解決策を論理的に構築する、iTL独自の学びに迫ります。

はじめに

には、オンライン対戦型カードゲームを 戦を実現し、対戦結果の効率的な収集と 開発し、そのシステムを用いて実験を をテーマに研究を行っています。具体的 報に対する意識の分析とリテラシー教育 テキスト分析に取り組んでいます。 APIを組み込むことでコンピュータ対 行っているほか、ゲームに ChatGPT の 2023年7月には、ポルトガルで開 私は飯尾ゼミに所属し、人々の個人情

について振り返りたいと思います。 た研究活動の軌跡と、国際学会での体験 発表を行いました。2年次後期から始め 催された国際学会で自身の研究について

ゼミの研究とインターンシップ

KOKUBO RIN

になり、2年次後期からゼミ活動がス そこから自然と飯尾ゼミを志望するよう また違ったアプローチで、大学生になっ たという実感を得ることができました。 触れる大学数学は奥深く、高校数学とは ラミングのための数学」でした。初めて は、1年次の飯尾先生の授業、「プログ 私が飯尾ゼミに興味を持ったきっかけ

> は飯尾先生のおかげです。 ぶれることなく研究に集中できているの す。興味が広範で多岐にわたる私でも、 たいことを全力で支えてくださる先生で タートしました。飯尾先生は学生のやり

にリリースされる瞬間に立ち会えたのは た。何より、自分が書いたコードが世界 非常に貴重な学びを得ることができまし 通信企業に求められる社会的責任など、 規模サービスの実装、アジャイル開発、 の長期インターンに取り組みました。大 気通信事業会社で電子決済システム開発 た。また、3年次の9月からは、大手電 ら下流まで幅広い業務の経験を積みまし ン、お客様との打ち合わせなど、上流 そこで開発の基礎を学び、実装、デザイ チャー企業のインターンに参加しました。 システム開発をメインの事業とするベン て学びたいと思い、2年次の12月から、 ありませんでした。実践的な開発につい ゲームのシステムを開発できる状況では いたことがあるだけで、とても複雑な ミ配属当時の私は簡単なC、C++を書 す。いざゲームを作ろうと思っても、ゼ にゲームシステムの開発を担当していま 研究は3人で取り組んでおり、

> 進めるうえで大きな財産になりました。 の実践的な開発経験が、研究での開発を な影響を与えました。このような企業で かけがえのない経験で、私の人生に大き

国立大阪教育大学附属高等学校池田校舎(大阪府)出身国際情報学部国際情報学科4年/

小² 久‹ 保፡

奨学金の受給と国際学会での発表

が強くなりました。 分の研究を世界に発信したいという思い 研究に対してより一層の責任を感じ、自 ができました。奨学金を受賞したことで 究に関わる費用を支援していただくこと 果、学部長賞を受賞することができ、研 クト奨学金」に応募しました。審査の結 要があるため、「iTL先端的プロジェ かる費用など、さまざまな費用を賄う必 Iにかかる費用、サーバを動かすのにか せるために必要なデータ通信、外部AP トも大きな問題でした。ゲームを成立さ 研究では、開発やシステム運営のコス

のうち、私の発表は最終日でした。初日 ポルトに降り立ちました。3日間の学会 究の成果と今後の展望について発表を行 れた国際学会、ELDL2023において、研 しみな気持ちを抱えながらポルトガルの いました。初めての国際学会、不安と楽 2023年7月、ポルトガルで開催さ ようにするため、ローカライズ化してい



研究発表 2 ポルトガルで飯尾先生と 3 学会での交流の様子

ことが大事だと思い、研究についてや日 ました。私は英語が堪能なわけではあり まっている研究者の方と積極的に話をし シャルイベントなどで、世界中から集 を作りたいと思い、食事の時間やソー 学ぶことがいかに重要であるかを実感し の歴史や地理、宗教、政治などについて した。国際学会に参加したことで、世界 治についてなど、幅広い会話を交わしま 本の気候や文化のこと、時には歴史や政 ませんが、上手に話すことよりも伝える と2日目は、とにかくたくさんの出会い

卒業後も大学院進学という選択肢を持ち

組んでいきたいです。 続け、自分の好きなことに真っすぐ取り

いです。 バー、飯尾ゼミ生に大きな感謝を伝えた ださっている飯尾先生や共同研究のメン 最後になりましたが、研究を支えてく